

Making English more accessible

英語をもっと身近に

ENGLISH

Think Globally,
Act Locally

GLOCAL



▲令和4年12月に台湾で行われた国立台北教育大学と市教育委員会の協定締結の様子

また、台湾の小学校10校と市内小学校もそれぞれ協定を締結しており、ICTを活用した台湾とのオンライン授業や発表動画などの交換を行っています。今年度は7月4・5日にチャンダウバイリンガル小学校が西原小学校、11月2・3日にシュアンヨン小学校が立台北教育大学附属小学校が鹿屋小学校と東原小学校を実際に訪問し、英語の授業や給食等での対面交流、児童宅でのホームステイを

台湾の国立台北教育大学と市教育委員会が協定を結び、英語による交流を図る「グローバル教育推進事業」。1月21日～2月4日には市内小学校に同大学の教育実習生10人を受け入れ、日本の教科書を使った英語の授業や異文化理解体験を行いました。実習期間中には、市内の児童生徒に台湾の文化を紹介するイベントや鹿屋の名所・戦跡をバスで巡るツアーを実施。イベント後にはホームステイを行い、多くの人と英語による交流を図りました。

-Global education-
グローバル教育推進事業

Making English more accessible

英語をもっと身近に

特集

グローバル化が進んだ現代社会では、国際共通語の英語によるコミュニケーション能力が求められています。そのため教育現場においては、英語教育を通してグローバル社会で将来的に活躍できる人材を育てることが急務となっています。そこで今号では、本市が現在取り組む英語教育について特集します。

市学校教育課 ☎0994-31-1137

-English education-
英語教育の推進
社会の急速なグローバル化の進展により、異文化理解や異文化コミュニケーションの必要性がますます高まっています。特に国際共通語である英語力の向上は、児童生徒の将来的な可能性の広がりのために必要不可欠。地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かし、英語を使って能動的に課題解決に向けて持続可能な社会の発展に貢献する人材を育成することが求められています。
本市では、平成17年度の文部科学省教育課程特例承認に基づき、「かのや英語大好き特区」として、小学校1年生からゲーム等を取り入れた英語に慣れ親しむ活動を先進的に開始しました。令和3年度からは新たに「*グローバル教育推進事業」を開始し、各学校間の協定に基づき台湾との国境を超えた英語による交流等を行っています。
また、令和4年度からはこれまで小学校で「外国語活動」として実施してきた英語教育を「英語科」へ変更。教科としての英語を小中一貫で推進しています。

台湾と鹿屋市の小学校の協定

- 国立台北教育大学附属小学校 ♥ 鹿屋・東原小学校
- Pinglin ES ♥ 細山田小学校
- Chung Dau Bilingual ES ♥ 西原小学校
- Taipei Mandarin EPS ♥ 寿北小学校
- Yixue ES ♥ 田崎小学校
- Minghu ES ♥ 笠野原小学校
- Changan ES ♥ 花岡小学校
- Shuangyong ES ♥ 上小原小学校
- Wanda ES ♥ 西俣小学校
- Jhongsing ES ♥ 大黒小学校 ※ES・EPS：小学校

2月19～22日には、市内の小中高生8人を「かのやこどもPR大使」として台湾へ派遣し、ホームステイや協定小学校での授業体験を通して本市の魅力英語でPRしてもらいました。
このように英語教育を推進している台湾と英語を通じた交流を図るような環境づくりを行っています。

*グローバル：グローバルとローカルを合わせた言葉で、地球規模で考え、地域で行動すること